

室内環境の視点からみた住まいのアレルギー対策—提言発表記念シンポジウム

○平 久美子 1)

1)環境アレルギー分科会代表

このたび当分科会は、日本臨床環境医学会との共催で、分科会シンポジウム「室内環境の視点からみた住まいのアレルギー対策—提言発表記念シンポジウム」を開催させていただくことになりました。2018年の分科会発足以来、どのように住まうことで環境アレルギー疾患を防ぐことができるのかについて、医学、物理・化学、建築の各分野の専門家が、学際的に知見の集積と統合を試み 2023年に、当該領域の初めての教科書「住まいのアレルギー対策—室内環境からのアプローチ」を出版しました。この内容を、簡潔に一般の方にわかりやすい形で情報発信するために作ったのが、次ページにお示しする提言「室内環境の視点からみた住まいのアレルギー対策」です。これもひとえに日本臨床環境医学会の絶大なご支援があったからこそと、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

提言発表を記念し、本シンポジウムでは、作成にかかわった各分野の研究者に、提言の各部分がどのような考え方で作られ、また、行政や一般の方にどのような実践をお願いしたいのか、熱い思いを語っていただくことにいたしました。どうぞご期待ください。

室内環境と関連して発症増悪するアレルギー疾患には、アレルギー性結膜炎、アレルギー性鼻炎、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性気管支肺真菌症、食物アレルギー、過敏性肺炎、アレルギー性接触皮膚炎などいろいろあります。最近のアレルギー疾患治療の進歩は目覚ましいものがありますが、治療によりせっかく落ち着いていたにもかかわらず、ちょっとした環境の変化で急性増悪する例が後を断ちません。もう少し早く、身のまわりの環境に目を向けていれば、ここまで重症化しなかったのにと考えることもしばしばです。

私たちは、この提言を、単なる理想として掲げるのではなく、全国津々浦々で実現されるべき目標として提示します。第一の目標は、どのようにしたら住まいのアレルギー疾患を軽減し予防できるのか、たくさんの人に知っていただくこと、第二の目標は、患者さんだけでなく、患者さんを取り巻く多くの方々に、住まいの環境に今一度目を向けていただき、必要な時には積極的に環境改善に協力していただくことです。患者さんの多くは、まわりの支援なくしては環境改善が不可能な社会的弱者です。何を欲張ったことをと笑われるかもしれませんが、我々は本気です。

それでは、おもしろいけれど、ちょっとこわい、室内環境アレルギーのお話の始まりです！

第 33 回日本臨床環境医学会学術集会
環境アレルギー分科会 シンポジウム

室内環境の視点からみた住まいのアレルギー対策：
提言発表記念シンポジウム

(司会 林基哉：北海道大学工学研究院・宮城学院女子大学名誉教授)

14：00～15：00

1. 趣旨説明／増え続けるアレルギー疾患
アレルギー対策の重要性,化学物質過敏症,シックハウス症候群との関係
(平久美子：東京女子医科大学付属足立医療センター麻酔科)
2. 衛生仮説の現在
(金勲：国立保健医療科学院生活環境研究部)
3. カビ対策とエアコン定期クリーニングの必要性
(柳宇：工学院大学建築学部建築学科)
4. ダニ対策
(高岡正敏：ペストマネジメントラボ)
5. 花粉対策
(山野裕美：シミズ・ビルライフケア)
6. ペット対策
(阪口雅弘：ITEA 東京環境アレルギー研究所)

15：00～ 10 分休憩

15：10～16：10

7. 化学物質とアレルギー
(角田和彦：かくたこども & アレルギークリニック)
8. アレルゲンによる汚染防止のための技術的対策
(池田耕一：日本建築衛生管理教育センター評議委員会)
9. 空気清浄機の利用と効果的な使い方
(野崎淳夫：東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科)
10. 空気清浄機を搭載した全館空調の効果
(三田村輝章：前橋工科大学工学部建築学科)
11. 災害に関連したアレルギー疾患対策の重要性、基礎編
(篠原直秀：産業技術総合研究所安全科学研究部門)
12. 災害に関連したアレルギー疾患対策の重要性、臨床編
(釣木澤尚実：国立病院機構横浜医療センター呼吸器内科)

16：10～16：30

13. 総合討論
(吉野博：東北大学名誉教授)